

さめうら
早明浦ダム再生事業起工式を開催します

～ 吉野川の洪水による被害の軽減を図ることを目的とした
水資源機構初のダム再生事業 ～

独立行政法人水資源機構が高知県土佐郡土佐町で進めている早明浦ダム再生事業において、主要な工事である放流設備の増設工事を本格的に着手する運びとなりました。

つきましては、事業にご協力いただいている関係者の皆様への感謝の意を表し、併せて工事の順調な進捗と安全を祈念するため、下記のとおり「早明浦ダム再生事業起工式」を開催します。

記

日 時：令和5年8月5日（土）11時30分～13時00分（予定）

場 所：土佐町農村環境改善センター（土佐郡土佐町田井1450番地）

主 催：独立行政法人水資源機構

式典概要：別紙1参照

その他：・招待者以外の方の来場はできません。

・式典当日に取材、撮影を希望される報道機関の方は、別紙3-2により事前にお申し込みください。



令和5年7月21日

独立行政法人水資源機構 池田総合管理所

発表記者クラブ

徳島県政記者クラブ、池田記者クラブ、高松経済記者クラブ、高知県政記者クラブ、四国中央市管内新聞社（愛媛・朝日・読売・毎日）

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 池田総合管理所 総務課長 おだきり 小田桐

電話：0883（72）2050

<https://www.water.go.jp/yoshino/ikedai/index.html>



早明浦ダム再生事業起工式概要

1. 日 時 令和5年8月5日(土)11時30分～13時00分(予定)

受付は10時30分より

2. 場 所 土佐町農村環境改善センター(別紙2参照)

3. 主 催 独立行政法人水資源機構

4. 主な出席予定者(ご来賓)

国会議員、国土交通省、高知県ほか関係県、関係市町村など
約60名の皆さま

5. 次 第

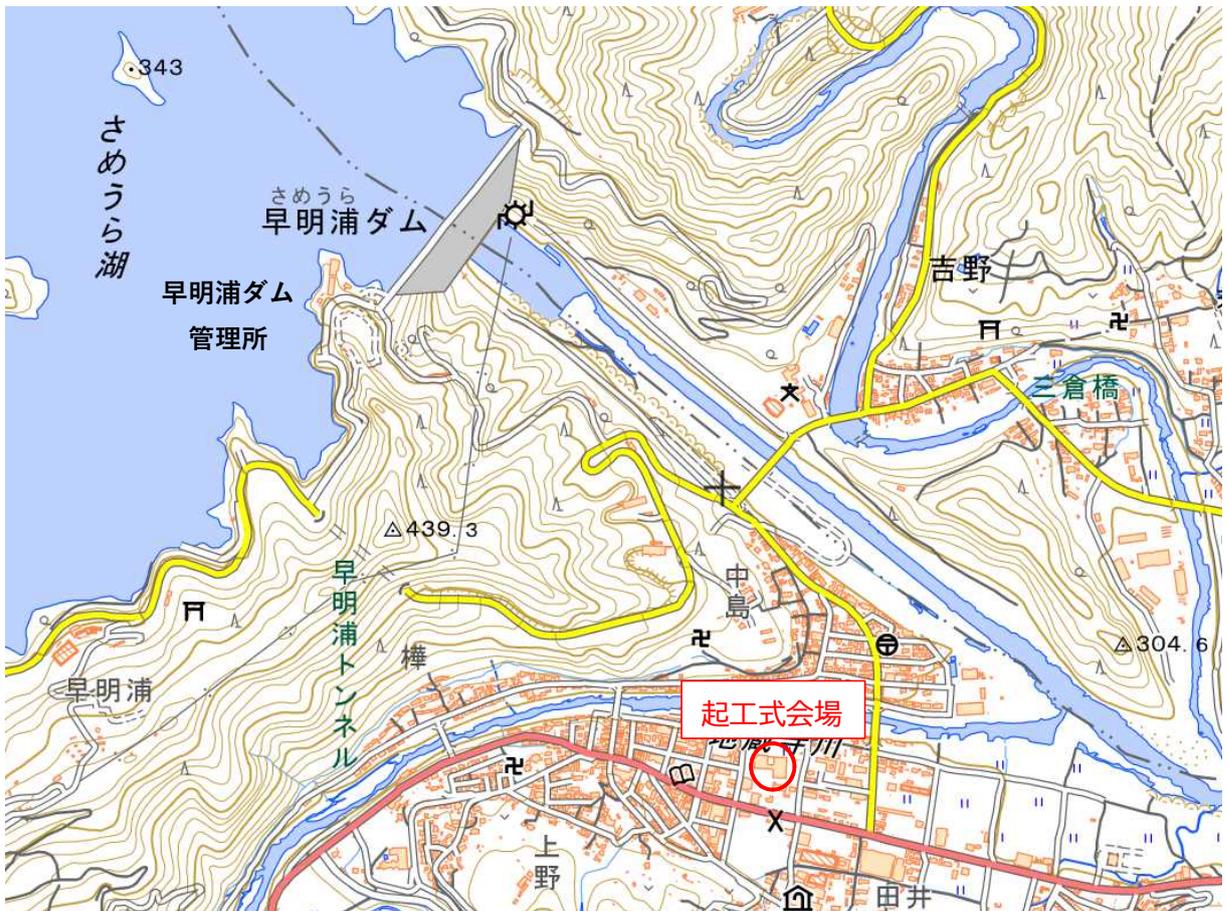
- (1) 開式の辞
- (2) 主催者挨拶
- (3) 来賓挨拶
- (4) 来賓紹介
- (5) 祝電披露
- (6) 工事施工者挨拶
- (7) 事業概要説明
- (8) 鍬入れ式、くす玉開披
- (9) 謝辞
- (10) 閉式の辞
- (11) 記念撮影

早明浦ダム再生事業起工式 会場案内図

広域図



会場周辺図



会場拡大図



- ・大豊 I C から会場まで、国道 439 号を走行し約 13.5 km、20 分程度の距離です。高知銀行の角を北進してください。起工式会場前で誘導員が駐車場まで案内します。
- ・起工式会場までシャトルバス等の運行はございません。

報道機関の皆様へのお願い

- ・取材の申込みは、別紙3-2により、7月31日（月）12時までにメールにてお申し込みください。
- ・会場内では主催者の指示に従うとともに、式典進行等の妨げにならないようご協力をお願いします。
- ・会場警備の都合上、取材される際は必ず取材社証（腕章）をご持参の上、ご着用をお願いします。
- ・お申し込みいただきました報道機関の方には、メールにて当日の会場への出入りに必要な「通行証」をお送りします。お車を駐車の際には、「通行証」をダッシュボード等の見えやすい位置に掲示願います。
- ・駐車場の場所につきましては、通行証と合わせてお送りします。当日は、会場内の係員の指示に従ってください。
- ・中継車などの放送機材車両の駐車が必要な場合は、事前に別途ご連絡をお願いします。
- ・取材時には現地受付にて名刺をご提出願います。
- ・参加者多数の場合、人数の調整をお願いする場合があります。

「早明浦ダム再生事業起工式」取材申込書

1. 貴社名

2. 代表者氏名(ふりがな)

(_____)

3. 取材者人数

_____ 名

4. 当日の車両

車種:

車体色:

ナンバー:

※駐車場に限りがあるため、各社1台限りとします。

5. 通行証の送付先(メールアドレス)

_____ @ _____

6. 連絡先(携帯電話)

(_____) - _____

※当日に連絡が取れる番号を記入願います。

お申し込み先 メール ikedam01@mc.pikara.ne.jp

池田総合管理所 総務課 小田桐、石川 行き

電話：0883-72-2050

※申込書に記載されている情報は、本目的以外には使用しません。

早明浦ダム再生事業の概要

ダム再生事業の概要



早明浦ダム再生事業完成イメージ

目的 吉野川では早明浦ダム完成以降にも洪水による被害が発生しており、さらにダムの計画最大流入量を超える洪水も発生しています。ダムの洪水調整容量を補強、及び放流設備を増設することにより、治水能力の向上を図ります。

総事業費 約400億円

工期 2018年度から2028年度までの11年間の予定

ダム再生事業の沿革

1965年度	早明浦ダム建設事業に着手
1975年度	早明浦ダム管理開始
2005年度	吉野川水系河川整備基本方針 策定
2009年度	吉野川水系河川整備計画 策定
2017年度	吉野川水系河川整備計画 変更 吉野川水系における水資源開発基本計画（一部変更） 早明浦ダム再生事業に関する事業実施計画認可
2018年度	早明浦ダム再生事業着手

早明浦ダム諸元

- 堤高** 106.0m
- 堤頂高** 400m
- 貯水容量** 3億1,600万³m
- 流域面積** 472km²
- 目的** 洪水調節
流水の正常な機能の維持
新規用水の供給
水力発電
- 管理開始** 1975年4月1日

早明浦ダム再生事業の内容

容量の振替

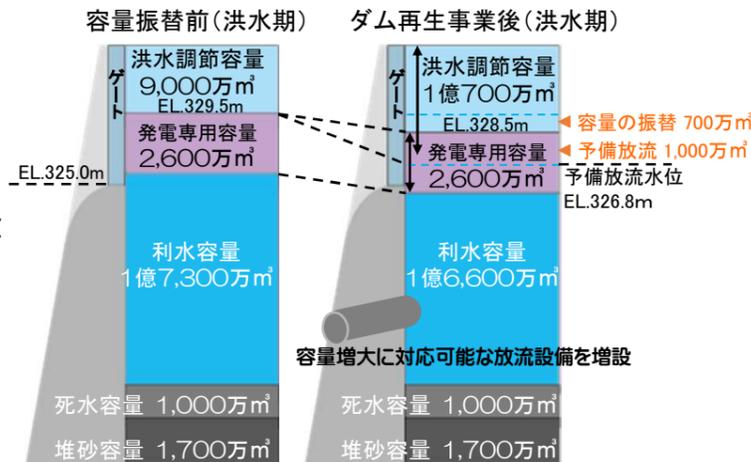
ダムからの補給方法を変更して、利水容量の700万³mを洪水調節容量に振り替えます。
令和4年7月1日から実施しています。

予備放流の導入

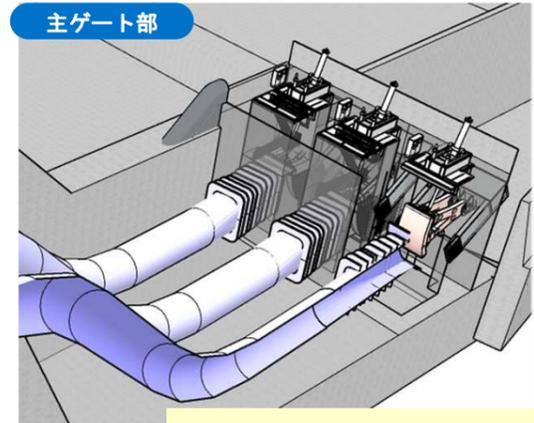
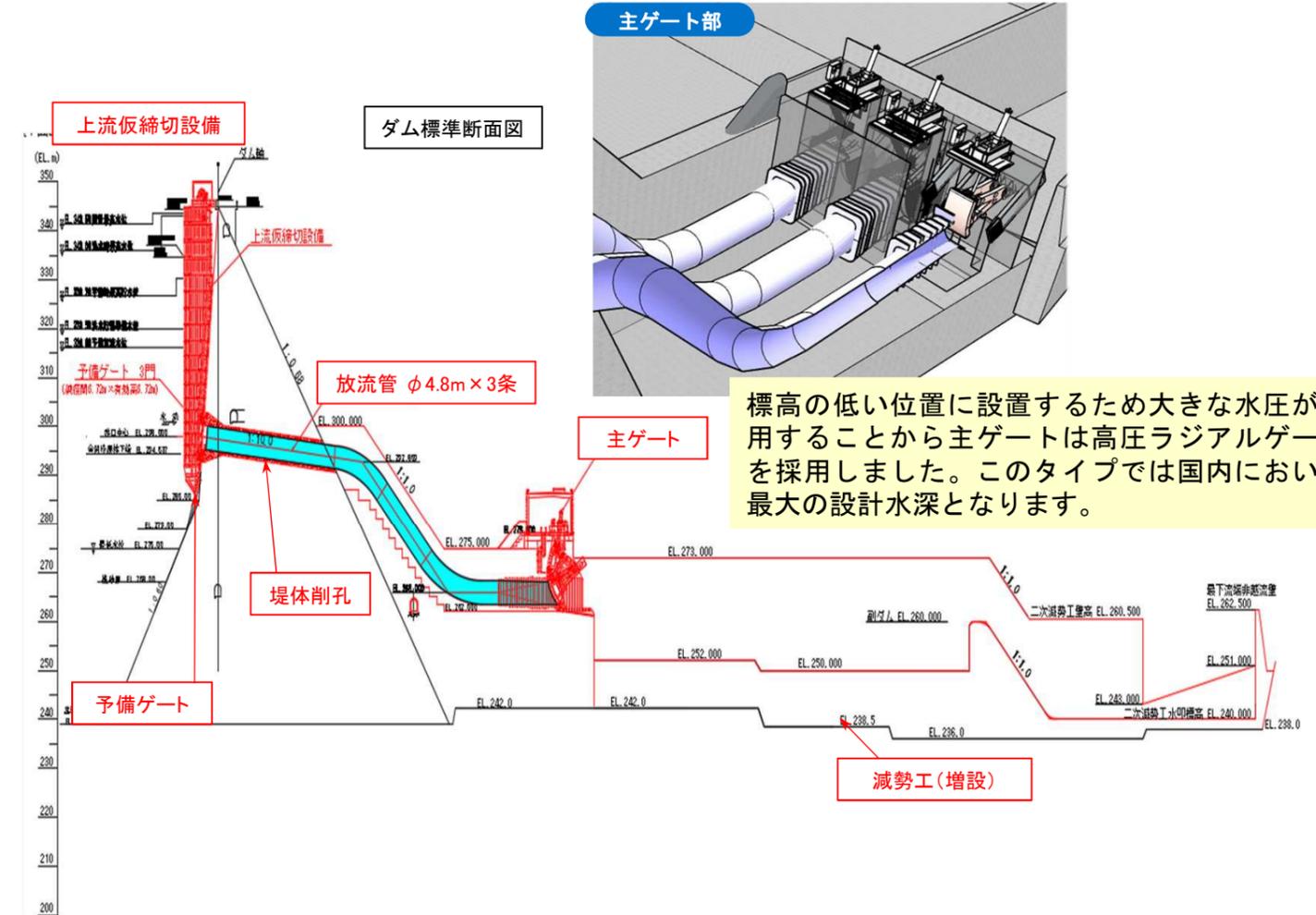
大雨が降りそうなとき、予め水を放水して水位を下げ、1,000万³mの洪水調節容量を確保して洪水に備えます。

放流設備の増設

容量の振替と予備放流を行うことで、ダムの水位が下がり、今のゲートでは適切な量の放流が出来なくなるため、放流設備を増設します。



工事の概要



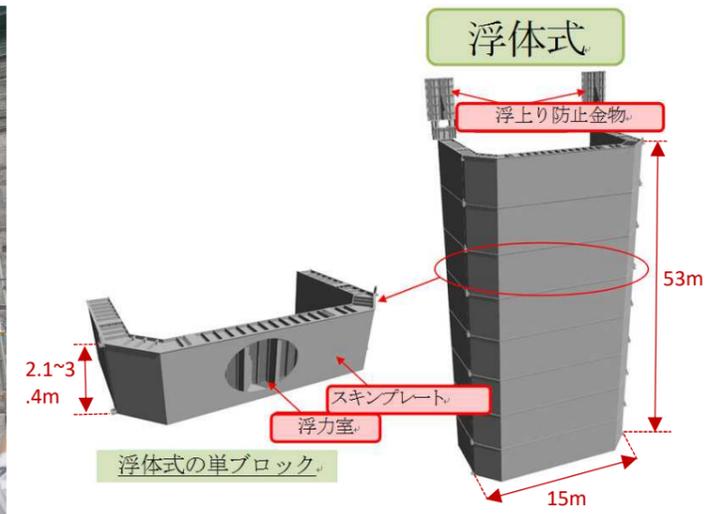
標高の低い位置に設置するため大きな水圧が作用することから主ゲートは高圧ラジアルゲートを採用しました。このタイプでは国内において最大の設計水深となります。

堤体削孔



掘削機（ドリルジャンボ）により堤体を下流側から掘削し、3本の放流管を増設します。

上流仮締切設備



従来通りの利水運用を行いながら工事を進めるため、堤体上流側に浮体式の上流仮締切り設備を設けます。この仮締切りを設置することにより、早明浦ダムを通常運用しながら工事を進めることができます。